

小地域福祉活動計画策定委員会開催日程		
予定	内容	備考
令和7年6月16日(月) 19:30～20:30	準備委員会 第2次計画策定について協議	地区社協役員会にて
令和7年7月4日(金) 19:00～20:50	第1回委員会 委員長・副委員長の選出 地域資源・課題出し	協議体会議と合同開催
令和7年9月5日(金) 19:00～20:40	第2回委員会 地域資源・課題の整理 課題解決のアイデア出し	協議体会議と合同開催
令和7年11月7日(金) 19:00～20:45	第3回委員会 具体的な取り組み検討	協議体会議と合同開催
令和7年12月19日(金) 19:00～20:30	リーダー会議 原案の作成	協議体会議と合同開催
令和8年1月23日(金) 19:00～20:30	第4回委員会 最終まとめ 原案の決定	協議体会議と合同開催



紫塚地区小地域福祉活動計画策定委員会					
◎委員長 ○副委員長					
No.	氏名	役 職 等	No.	氏名	役 職 等
1	岡 田 雅 俊	紫塚地区社協会長・協議体委員長	19	船 山 一 洋	元紫塚小PTA会長
2	高 橋 美 保	紫塚地区見守り隊総隊長	20	猪 瀬 孝 一	主任児童委員
3	福 田 里 美	紫塚地区社協副会長	21	井 上 達 夫	紫塚地区社協福祉賛同者
4	竹 澤 弘 実	紫塚地区社協副会長	22	渡 辺 伸 子	元紫塚地区社協児童福祉部会部長
5	◎ 長谷川光紀	紫塚地区社協広報部会部長	23	斎 藤 貴 洋	おおたわら保育園主任
6	○ 高 瀬 弘 美	紫塚地区社協給食部会部長	24	磯 親 芳	元紫塚地区見守り隊総隊長
7	大 室 充 子	紫塚地区社協児童福祉部会部長	25	平山美智子	福祉委員
8	伊 藤 三 良	紫塚地区社協福祉奉仕部会部長	26	小 林 伸	沼の袋公民館長
9	千 葉 光 男	紫塚地区社協会計	27	細小路岳史	フードバンク県北
10	近 靖 子	紫塚地区社協会計	28	印 南 浩 美	紫塚地区社協監事
11	伊 藤 直 子	紫塚地区社協事務局	29	渥 美 文 枝	福祉委員
12	芝 本 沙 南	紫塚地区社協事務局	30	増 淵 三 好	元経塚自治会長
13	中 島 隆 志	深川自治会長	31	金 子 光 則	紫塚NT公民館長
14	猪 瀬 泰 藏	成田町自治会長	32	田尻真知子	民生委員児童委員
15	山 岡 修 二	経塚自治会長	33	千 葉 公 枝	福祉委員
16	佐 藤 重 敏	紫塚NT自治会長	34	大 西 耕 平	中央地域包括支援センター
17	藤 沼 久 子	民生委員児童委員	35	磯 尾 昌 弘	第2層生活支援コーディネーター・見守り隊主任
18	疊 昇	深川自治公民館長			
発行年月：令和8年3月 編集：紫塚地区社会福祉協議会 連絡先：大田原市社会福祉協議会(☎23-1130)					

紫塚地区社会福祉協議会

地域みんなのふだんのくらしの🌟あわせを、みんなで考え、みんなで進めるのが紫塚地区社会福祉協議会(地区社協)です。

地区社協は地域のふくしのために、「自分たちの地域を自分たちで良くしていこう」という紫塚地区のみなさんが主役の活動です。

紫塚地区見守り隊

～ゆっくり、あわてず、マイペース、でも少しのお節介を～

見守りが必要な方が、慣れ親しんだ地域で、安心して生活ができるよう、**見守りやちょっとしたお手伝い、つながりづくり**を行っています。

紫塚地区協議体

ほっとすまいる紫塚を目指して、地域の良いところを生かし、地域の困りごとを解決していくために、みんなで話し合い、みんなで取り組むきっかけをつくっていきます。

ほっとすまいる紫塚 を目指して

《第2次小地域福祉活動計画2026年度～2030年度》

小地域福祉活動計画って？

将来を見据え、私たちが住んでいる地域の良いところや課題などを話し合い、みんなで協力しながら「ささえ合いの地域づくり」(互助・共助)を進めるための「紫塚地区社会福祉協議会」の計画です。

目指す地域像

**つながりと支え合いで、笑顔とあたたかさ
にあふれる、住んでいてほっとする地域**

～ほっとすまいる紫塚～

紫塚地区の人口構成等					(2026年1月1日現在)
人口	年少者(0～14歳)	732人	自治会数	7自治会	
	生産年齢(15～64歳)	3,467人	世帯数	2,859戸	
	高齢者(65歳以上)	1,631人	高齢化率	大田原市	32.60%
	※うち後期高齢者(75歳以上)人口	909人		紫塚地区	27.98%
	紫塚地区合計	5,830人			

紫塚地区の特色

紫塚地区は、紫塚小学校校区を基本とし、昔からの伝統を引継ぎ、その地で生まれ育って古くからの知り合いが多い地域から、新しい住民が増加している地域まで、様々な性格をもっています。また、日常生活面では、市役所や市の関連施設、大田原高等学校、複数の大型商業施設を有するなど、生活環境面でも大田原市の中では比較的恵まれた地域です。

地区社会福祉協議会では「食事サービス」や「ムラなく防災 サキまで安心 紫広場」を実施し、夏休みの体験やイベントの企画には学生も参加し、(高齢者)福祉の充実を図るとともに地域の学校との懸け橋となっています。

これらは、地域の連携を深める場であり、子どもから高齢者に至る多くの人々が触れ合いを通して連帯感をつちかうとともに地域に寄与する資質をもつ子どもを育てることを理念としています。

しかし、全国的な近隣関係の希薄化は当地区でも進んでおり、ここからの脱却を目指し、「お互いさまの支え合い」が当たり前になれる地域づくりを目指し取り組んでいます。

大田原市12地区



地域住民一人ひとりが、お互いさまで支え合える地域づくりを目指して 紫塚地区が取り組んでいくこと

「ふくし」とは
ふだんのくらしのしあわせ
を進めること

子どもから高齢の方まで、あらゆる人が
「人ごと」を「わがこと」として、お互いに支え
合える紫塚地区をつくっていきましょう

目標		実現のための主たる目標(取り組むこと)		策定の意図		2026	2027	2028	2029	2030	
仕組みづくり	普段のささえあいや災害時の避難支援など、紫塚で取り組んでいる支援を継続・発展させるための仕組みを考えます。	自治会の研修会や自治会同士の交流会を開催します。また自治会や地区社協の活動をまとめ、取り組みのノウハウを共有します。	各自治会で行われている研修や交流会を地域全体で活かすため、ノウハウの共有を推進します。	詳細企画・検討	実施・継続						
		体験ができる場所やみんなが来られる居場所、関連する団体とつながりの仕組みづくりに取り組みます。	各自治会が行う交流や支援の場を地域全体で強化するため、関連団体との連携を図ります。		実施・継続						
		見守り活動中のちょっとした手助けや、自治会ごとのささえあいマップづくり等、実施中の取り組みの継続と見直しを行います。	活動の継続と情報の更新を行い、「今」の地域課題に即した支援を維持し続けます。		実施自治会を決めながら随時実施						
人づくり	人づくりは、地域づくりのかなめ。人生のベテランから若い世代に引き継ぐ地域の宝を育てます。	企画に若い力を取り入れ、子どもが楽しめる地域行事を考案します。また、地域活動から担い手の育成を進め、子どもをきっかけとした人づくりを進めます。	子どもの参加を通じて、親世代の地域行事の担い手育成を図ります。		実施・継続						
		親子での行事参加をきっかけに地域を知り、災害や福祉などの課題に全世代で取り組む「紫塚」を目指します。	地域で活躍する魅力的な大人の姿を目標に、多世代間の交流を通じて、次世代を担う人材を育成します。		随時実施						
機会づくり	地域の様々な集まりに参加しやすい環境を整えます。	魅力的なイベントを地域一丸となって開催するために、自治会同士の情報交換や周知に力を入れ住民が集まりやすい環境をつくります。	多くの人イベントに参加できるよう、周知の工夫や情報提供の手法を強化します。		随時実施						
		趣味の仲間やご近所同士のつながりを大切に、みんなが気軽に集まるお茶飲みなど、自然なささえあい活動を推進します。	地域での普段の支え合いを広く紹介し、さらなる活動を推進します。		実施・継続						
紫塚の第1次計画のあゆみ							計画実施の詳細は紫塚地区協議体活動を通して検討しながら進める				

紫塚の第1次計画のあゆみ

仕組みづくり

マップづくりを通して自治会ごとに自分の地域を見つめなおし、近所の人が見守る方法や災害の視点から、日頃のつながりづくりについて考えています。



わんわんパトロール



見守り隊救急救命講習



DIG(災害図上訓練)

人づくり

自治会の行事や地区社会福祉協議会の食事サービスを通して次の世代が育ち、継続した地域づくりにつながっていきます。



紫塚NTクリスマス会



沼の袋餅つき



中学生の食事サービス体験

機会づくり

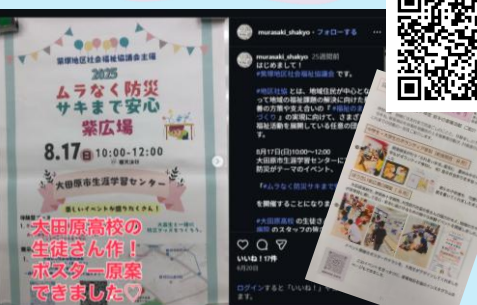
紫塚に住む人たちが集まりやすいよう、行事のお知らせやSNS、お便りを活用した周知を行っています。



紫塚小地域探検ウォークラリー



ムラなく防災サキまで安心紫広場



地区社協お知らせ・お便り



紫塚地区社協
Instagram
↓↓↓